

希学園 第394回 小4公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第394回公開テスト 小4国語 解説動画(2025年3月9日実施)	https://vimeo.com/1063785075/29c2e623e6

1

1 去年

2 安

3 お礼

4 外れる

5 飲酒

6 小麦

2

1 ア

2 I タンス

II (記述題)

III 認知症

3 地味

4 X おばし

(4 X 完答)

4 Y すきま

5 A ぐ

B い

C つ

(4 Y 完答)

3

6 エ

7 I イ

II ウ

III ア

IV エ

(7 完答)

1 I ウ

2 使う

3 無人島

(1 完答)

4 ちよい紙

5 A 頭

B 丁

(4 完答)

6 X 高等学校

Y 原子力発電所

7 I パツ

II 細か

8 I 2

II 1

III 2

2

2 II おばあちゃんが タンスとれいぞうこを
 まちがえて入れてしまった から。

(同意可)

配点	
1・2・3	各2点×13=26点
2 II	6点
その他	各4点×17=68点
〈計〉100点	

1

- 1 「去」の四画めと五画めをつなげて書かないように。
- 2 「安」の二画めと三画めをつなげて書かないように。
- 3 「札」と字形が似ているため、まちがえないように。
- 4 送りがなもおぼえておこう。
- 5 「飲」の左がわが「食」ではないことに気をつけよう。「酒」の右がわも「酉」ではない。
- 6 「麦」の二画めと五画めをつなげて書かないように。

2

「おばあちゃんのあかね色」 楠 童子

- 1 「もうそのことはいい」とは、過去のことはゆるそう、ということである。ウの「わすれていること」は過去のことでなく今のことである。
- 2 この問いそのものが、文章全体の理解を深めるための誘導になっている。「やっぱり杏のプリンを食べたことなんてわすれてい
ます」など、おばあちゃんが認知症であるということをもとに読み直すと、初読時よりもずっと理解が深まるはずである。Iは
後の場面、おばあちゃんのダンスの引きだしからプリンが見つかった。II・IIIは、ママの「ダンスとれいぞうこをまちが
うことがあるって、本で読んだのに、うっかりしてたなあ。」という発言から、これがおばあちゃんの行動の説明であり、この行
動は認知症による影響の一つであると分かる。
- 3 ママがゆびさしている服は直前のように「新しい服」である。その色にふれているところをさがそう。
- 4 ◎の文そのものを手がかりにする。Xは「…がしまった」、Yは「…ような気がするため、すててほしくない」がそれぞれ手が
かりになる。空らんの前後のことばに目をつけ、それに近い表現を本文からさがすのは定石である。
- 5 A「ちぐはぐ」はふぞろいであること。B「あいまい」ははっきりしないこと。C「元気はつらつ」の「はつらつ」はもとも
と、魚が元気よくとびはねるさまを表す。
- 6 ママはきれいな色の服をすてる理由について、「おばあちゃん、自分で服えらんだらおかしな組みあわせになるし。わたしが
毎朝手伝うの、大変なのわかるでしょ」「せんたくは、かんたんにできるほうがいいでしょ。あと、ぬいだり着たりも、楽なほ
うがいいのよ。おばあちゃん、うでが上がりにくいみたいだから」と発言している。それをうけて、「ママのいうことはわかり
ます」と続いている。ママのいうことは理にかなっており、おばあちゃんの世話をするためにはそのほうが色々と便利なのであ
る。理にかなっていることを「合理的」であるという。
- 7 Iは直後の「ねだんが高い服なら、ママもためらうかなあとと思って」からIに決まる。IIは「すてきな花柄のブラウス」を手
にしている杏へのママの返事を入れる。ウの「それ」という指示語は話し相手の手近にあるものをさすときに使う。ママが杏の
手にしているブラウスをさして「それ」といっているのである。IIIはそのママの発言に対する杏の反応であるからAになる。IV
はママが「やわらかい生地のスカーツ」を手にしていったことである。「これ」という指示語は自分の手近にあるものをさすとき
に使う。ママが自分の手にしているスカーツをさして「これ」といっているのである。

3

「すてきな相棒！ おかね入門」 橋本長明 ※問題作成の都合上、一部表記を変更しています。

- 1 Iは文末の「から。」でウに決まる。「なぜなら」に類する、理由説明の言い回しである。II「人それぞれ書く文字にはクセが
ありますし、数字を読みちがえられてしまったら大変」だから「だれもが判別できる『1』から『9』までの数字を書けるよう
に…」というつながり。III「もつたないなあ」でも「…必要な作業なんです」というつながり。
- 2 次の段落の「でも」の前後で「無人島」と「経済社会」の対比になっている。無人島では使うところがないため、おかねに価
値を見出せないが、私たちの住む社会では使う場所があるため、価値を感じるのである。
- 3 2の解説を参照。「でも」や「ありません」に対する「あるからなんです」など、対比を示す目印には注目するクセをつけて
おこう。
- 4 本文全体の話題が、第一段落で述べられていた「おかね自体には価値はない」ということであるのがポイント。『「おかね」つ
ていったい何なんでしょう』という問いに対する答えも、「それそのものには価値がないもの」という方向性になるはず。
- 5 A「くじら」など、人間より大きな動物は基本的に「頭」でかぞえる。B「とうふ」は昔、二つで一丁とかぞえていた。一つ
は半丁であった。「丁」には偶数という意味がある。
- 6 長い熟語の省略は、「特急（＝特別急行）」「国連（＝国際連合）」などたくさんある。本文中にある「経済」も「経世済民」の
略である。
- 7 4と同じく、空らんの前後を手がかりにする。Iは「大量の…」「運ばれている」が、IIは「もう使わないお札」「…する」
が、それぞれ手がかりになる。
- 8 Iは「何の価値もない」が言いすぎである。「おかね自体には価値はない」が、経済社会に生きる私たちはその紙に価値を見出
している。「切りぎぎむ」のはもう使えないときなので、「何の価値もないため切りぎぎんでよい」という因果関係もおかしい。
II「日本の中央銀行」は「日本銀行」であるため、正しい。III「数字を正確に書く練習」を筆者は行ったが、それを人々が行う
べきであるという意見を述べているわけではない。「小学生」という語も「…小学生でもすらすら書けるよ！」のところにあるだ
けである。ただ本文に書かれていることは含まれているからといって、内容として正しいと判断してはならない。

以上